

日時 8月14日(木) 天候 晴 徳風高校・通信制 対 京都府立朱雀高校
 球場 大田スタジアム 第3試合 2回戦 試合時間 1時間30分 備考 完全試合
 審判 球審:杉田 塁審:佐藤 家田 渡辺登 (7回参考記録)

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計	安	失
朱雀	京都	0	0	0	0	0	0	0									0	0	4
徳風・通	三重	0	0	2	2	0	0	X									4	8	0

朱雀		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	中		中村和貴	3	0	0	0	三振			三振			三振						
2	遊		松本拓也	3	0	0	0	三振			中直			中飛						
3	三		森保徳	3	0	0	0	三振			三振			三振						
4	捕	投	家垣龍	2	0	0	0		三振				三ゴ							
5	一		中野正孝	2	0	0	0		三振				三振							
6	二		水谷友哉	2	0	0	0		三振				三振							
7	右		杉原吉紀	2	0	0	0			三振				投ゴ						
7		捕	三輪烈士	0	0	0	0													
8	投	左	佐藤志求磨	2	0	0	0			右飛				三ゴ						
9	左	右	秋武智也	2	0	0	0			二飛				捕邪						
合計				21	0	0	0	残塁:0 併殺:0												

備考

バッテリー

投手
佐藤志求磨
家垣龍

捕手
家垣龍
三輪烈士

投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
佐藤志求磨	5	29	8	4	4	3
家垣龍	1	3	0	1	0	0

徳風・通		ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	中		佐々木豊	1	0	0	0	死球	三ゴ		捕犠	死球								
2	一		山崎陽介	4	1	1	0	三振		二安	投ゴ	一ゴ								
3	投		早川友将	4	2	2	1	二ゴ		中安	二安		三振							
4	捕		靄快晴	4	0	2	2	投飛		中安	左3		投ゴ							
5	遊		河合真人	3	0	0	0		三振	四球	二ゴ		一ゴ							
6	三		菊地一成	3	0	0	0		二ゴ	三振		三振								
7	左		米山泰玄	2	0	1	1		四球	遊安		右飛								
8	右		蛸山真樹	3	0	0	0		遊失	投ゴ		遊失								
9	二		西田航洋	3	1	2	0		遊安		遊失	左安								
合計				27	4	8	4	残塁:10 併殺:0												

備考

バッテリー

投手
早川友将

捕手
靄快晴

投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
早川友将	7	21	0	13	0	0

戦評

昨年準優勝、一昨年の覇者で王座奪還を狙う徳風と2年連続三位の朱雀との好カード。徳風は前日の1回戦で北海道東藻琴を1安打完封した河合ではなく、エースの早川が先発。一方朱雀は背番号2番の佐藤が先発。0-0で迎えた3回裏、徳風はこの回先頭2番山崎が内野安打で出塁。3番早川も中前打で続き、無死一・二塁のチャンスから4番靄が中前適時打を放ち3連打で鮮やかに1点を先制する。なおも重盗、四球などで一死満塁から7番米山の内野安打の間に早川が本塁を踏み1点追加。続く4回裏には敵失で出塁した9番西田を1番佐々木が二塁に送り二死三塁とした後、3番早川の打球が二塁への内野安打となり1点追加。続く4番靄が左翼越適時三塁打を放ちもう1点追加して4-0と朱雀を突き放す。反撃のきっかけを掴みたい朱雀だが徳風エース早川の小気味よいピッチングの前に走者を出ることが出来ない。6回裏にエース家垣を投入し徳風の攻撃を3人で切り上げ、最終回の攻撃にすべてを託した朱雀であったが、徳風早川の投球は最後まで冴え渡り4-0でゲームセット。7回参考記録ながら完全試合を達成した。最後まで反撃のチャンスを窺っていた朱雀であったが、徳風バッテリーは付け入る隙を見せなかった。